

## 幼児教育学科

科目名: 保育実習指導Ⅲ			担当教員 氏名: 岡野 宏宣						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	通年	専門科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
<p>保育実習は、『事前学習』『実習』『事後学習』という流れの中で行われる。保育実習指導Ⅲでは、保育実習Ⅲに向けて福祉施設の実習の意義、実習計画の立て方や保育・支援の方法などを学び深めていく。また、保育実習Ⅰ-①、保育実習Ⅰ-②での反省を踏まえ、実習に対する心構えや実習計画の立て方等の再確認を行う。事後学習として、実習報告書の作成を通して、実習の成果をまとめ、各自の課題を整理していく。</p>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義</li> <li>・実習計画</li> <li>・実習報告書</li> </ul>			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 4. 6. 9				
A 知識・理解力			保育実習の意義や目的を理解し、保育を総合的に学ぶ。						
B 専門的技術			保育実習の経験を通して、自己課題を確認する。						
C 論理的思考力			実習報告書を作成し、各自の課題をや保育に対する認識を明確にする。						
D 問題解決力			保育の改善について計画立案、実践や事例を通して学ぶ。						
E 自己管理能力			保育実習の経験を通して、自己課題を確認する。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	20 %	発表:	20 %	実技試験:	%	その他:	60 %
特記事項: 毎回の授業出席を原則とし、やむを得ず欠席した場合は課題を与える。課題への取り組み、提出物(期限厳守)の内容等で総合的に評価を行う。保育実習Ⅰ-②(福祉施設での実習)の経験をもとに保育実践力の向上について学生間でのディスカッションを行う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習      ディスカッション、ディベート      グループワーク      プレゼンテーション      実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:⑤～⑦で学生同士のディスカッションを行う。⑮にて報告書を作成・提出を行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
① 保育実習Ⅰ-②の振り返りと自己課題の整理					保育実習指導Ⅲを通して目標・課題を立てる	60分			
② 子どもや利用者の最善の利益を考慮した保育の具体的理解					【予習】配布プリントの熟読	30分			
③ 子どもや利用者の保育・支援と保護者支援					【予習】配布おプリントの熟読	30分			
④ 保育士の専門性と職業倫理					【予習】配布プリントの熟読	30分			
⑤ 保育実践力の育成 (1)個々の子どもや利用者に応じたかかわり					【復習】振り返りシートの記入	30分			
⑥ 保育実践力の育成 (2)集団に応じたかかわり					【復習】振り返りシートの記入	30分			
⑦ 保育実践力の育成 (3)保育の表現技術を生かした保育実践					【復習】振り返りシートの記入	30分			
⑧ 事前訪問					【復習】予習訪問の記録をまとめる	60分			
⑨ 保育の全体計画に基づいた具体的な計画の立案					【予習】実習活動案を調べる	60分			
⑩ 実習指導案の作成					【復習】実習指導案の記入	150分			
⑪ 支援計画の作成					【復習】支援計画の記入	150分			
⑫ 実習の総括と自己評価					【予習】自己評価表の記入	60分			
⑬ 実習報告書の作成 (1)事例を通して					【復習】報告書記入	60分			
⑭ 実習報告書の作成 (2)全体的考察					【復習】報告書記入	60分			
⑮ 実習報告書の作成 (3)報告					【復習】他者の報告を聞いて気付きをまとめる	60分			
使用テキスト:使用しない。					その他参考文献など: 授業の中で適宜紹介する。 プリントなどの資料を適宜配布する。				
<p>受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本科目の単位を履修するためには、全ての授業に出席し課題に取り組むと共に、保育実習Ⅲ2単位を履修する必要があります。また、実習を行うにあたって実際に必要なことを学ぶ重要な授業であり、積極的な取り組みが求められます。上記時間外においても、実習内容等に関して予習・復習・準備などに積極的に取り組んで下さい。その他必要に応じて追加授業を行う場合があります。 本科目の履修状況によっては、保育実習Ⅲの履修を認めないことがあります。</p>									